

展示室5 山口薫とゆかりの作家たち

2022年7月8日(土)～8月27日(日)

本県出身の画家、山口薫(1907～1968)は、1930年に東京美術学校(現・東京藝術大学)を卒業した後、3年間フランスに留学しました。帰国後は自由美術家協会、次いでモダンアート協会を結成し、それらを拠点としながら、日本を代表する洋画家として国内外で高い評価を受けました。1953年からは東京藝術大学で教鞭をとり、後進の育成にも尽力します。本展示では、所蔵作品のなかから、山口薫作品とともに山口ゆかりの作家たちの作品をご紹介します。旧制高崎中学校(現・県立高崎高等学校)の後輩であり、同時期に東京で学生時代を送った松本忠義や豊田一男、同じく中学の後輩でモダンアート協会に誘った小林良曹、松本忠義に師事していた正田壤、東京藝術大学の教え子である田口安男など、山口と同時代を生き、その芸術や画家としての姿勢に影響を受けた作家たちの作品をご覧ください。

〈山口 薫〉					
No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
1	山口 薫 (1907-1968) 紐	1939(昭14)	油彩・カンヴァス	100.0×80.0	第3回自由美術家協会展
2	水	1941(昭16)	油彩・カンヴァス	79.8×99.8	第5回美術創作家協会展
3	林の幻影	1953(昭28)	油彩・カンヴァス	130.2×162.3	第3回モダンアート展
4	ノートルダム	1954(昭29)	油彩・カンヴァス	99.5×90.8	第4回モダンアート展
5	孤独者のすまい	1955(昭30)	油彩・カンヴァス	130.3×162.3	第3回日本国際美術展 井上工業株式会社寄贈
6	水田を飛ぶカーチス式軽飛行機	1964(昭39)	油彩・カンヴァス	130.5×162.0	第3回国際形象展 群馬銀行寄贈
7	林の中の小鳥のアパート	1966(昭41)	油彩・カンヴァス	80.3×100.0	第17回群馬県美術展
8	月と道産子	1967(昭42)	油彩・カンヴァス	100.0×80.5	第17回モダンアート展 山口マサ氏寄贈
9	金環色(蝕)の若駒	1968(昭43)	油彩・カンヴァス	100.0×80.5	第18回モダンアート展 山口マサ氏寄贈

〈山口薫ゆかりの作家たち〉					
No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
10	松本忠義 (1909-2008) 曼荼羅風な静物	1951(昭26)	油彩・カンヴァス	130.3×193.9	第15回自由美術家協会展
11	鼻の宿	1969(昭44)	油彩・カンヴァス	162.0×131.0	第9回主体美術展
12	河辺保忠、松本忠義 山口薫作「残雪の木々」による緞帳下絵	1971(昭46)	アクリル・カンヴァス	100.0×200.0	作者寄贈
13	豊田一男 (1909-1989) 作品(地の痛み)	1963(昭38)	油彩(ロー画)・カンヴァス	130.6×194.0	第27回自由美術家協会展 作者寄贈
14	作品64-C	1964(昭39)	水彩、蠟・カンヴァス	91.0×72.8	作者寄贈
15	地球儀とこうもり	1965(昭40)	油彩(ロー画)・カンヴァス	116.9×90.9	
16	小林良曹 (1909-1999) 信濃	1965(昭40)	油彩・カンヴァス	130.3×162.1	第1回主体美術展
17	小倉ポオ (1924-2004) 青の空間	1969(昭44)	油彩・カンヴァス	130.0×193.8	第19回モダンアート展
18	正田 壤 (1928-2016) 虫(青)	1965(昭40)	油彩、石膏・板	141.5×183.0	第15回モダンアート展
19	遊園地	1967(昭42)	油彩、石膏・板	141.5×183.0	第11回安井賞候補新人展
20	田口安男 (1930-) うねりのはじめ	1968(昭43)	油彩・カンヴァス	145.5×145.5	洋画商68年展個展 作者寄贈

※目録番号は展示順と一致しません。ご了承下さい。

※都合により展示作品を変更する場合がございます。ご了承下さい。

群馬県立近代美術館